

## 地方創生推進交付金事業

### 『女性が輝くまち 芦屋』プロジェクトについて

人口減少に伴う就労人口の減少に起因する地域経済の低迷や社会的な担い手不足は、本市においても今後の大きな課題のひとつです。その課題解決のキーワードとなっているのが「女性の活躍」です。

国においては、平成28年4月、10年間の時限立法として「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が全面施行されました。

本市においては、市民意識調査で、現在仕事をしていない女性の30歳代、40歳代の就労意向は高く、出産や育児で就労を中断した後、資格やスキルがありながら家庭の事情により、復帰できない人が多数存在することが推測され、キーワードである「女性の活躍」の取り組みが必要とされることです。このことから、平成28年度に第一次女性活躍推進計画を策定し、女性活躍推進会議を立ち上げるなど、女性の活躍の推進に取り組んでいるところです。

一方、本市が創生総合戦略の基本目標に掲げる「安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高め、継承する」「若い世代の子育ての希望をかなえる」を実現するためにも、就労においてこれらの年代層の掘り起しが必要とされています。

標記のプロジェクトを実施することにより、女性の多様な働き方を提案し、個々の状況に合わせた支援を行い、子育てと仕事の両立や再就労・起業をサポートし、女性活躍を促進しようとするものです。

#### 記

#### 1 事業期間

平成29年度から31年度まで（3年間）

#### 2 内容

初年度は、市民に広く事業をPRするとともに、対象となる女性と市内協力事業者に対し、主に働き方に関する調査を実施。支援の対象となる、就労・起業等を希望する女性にプロジェクトに登録していただき、個々の状況に合わせた支援を開始します。併せて、市内協力事業により地域でサポートする体制づくりを構築します。

2年目以降は、個別支援の強化と併せて、登録会員が自らの経験を還元する活躍の場の提供や、登録会員コミュニティ、それを支援する地域ネットワークを醸成。女性ひとりひとりが活躍し調和するまち芦屋の実現を目指した仕組みの構築を進めます。

#### 3 具体的事業及び実施時期（29年度）

- (1) 11月 WEBによる女性の働き方アンケート実施
- (2) 11月21日～ WEBティザーサイトオープン、プロジェクトネーミング及びロゴ発表
- (3) 11月～12月 市内事業者等に対する現状調査を実施し、協力者を集める。
- (4) 12月1日～ WEB本サイトオープン
- (5) 12月 グループインタビューの実施
- (6) 1月末 協力者等によるキックオフイベント
- (7) 2月10日 新しい働き方を発見する相談会
- (8) 2月～3月 新しい働き方のアクションプランづくりワークショップ

#### 4 担当

市民生活部 女性活躍推進担当 長岡 38-2518（内線94-2200）

以上

## プロジェクトネーミング及びロゴについて

### — プロジェクトコンセプト —

- ・「世界で一番女性ひとりひとりが活躍！調和するまち芦屋」への身近な入口
- ・「もう一度働きたい」×「職住近接」×「多様な働き方」の3つを芦屋らしいスタイルで実現
- ・芦屋への愛着をもち、自らの経験を芦屋に還元する次世代の女性コミュニティと、それを支援する地域ネットワークを醸成

### — プロジェクトネーミング —

アシヤ  
ASHIYA

プロジェクトの舞台となる街、芦屋市。

リジューム  
RESUME

英：(中断した後に)再び始める、再び続ける

仏：レジュメ、履歴書、経歴

【語源】フランス語からの借用語

### — シンボルマーク —



- RESUME CRYSTAL -

ふたたび自らの意志で行動を起こしていく再生の意志をアイコン化。  
色とりどりの個性(人)と、職住近接のもと生まれる多様な働き方や仕事が、  
より良い姿、カタチ(結晶体)となって  
芦屋のまちと共に調和しながら光り放つ様子をシンボライズしました。



### シンボルマーク+ロゴタイプ 基本形

